

スポーツを核とした観光、健康、モビリティ、都市OSの検討

分科会提案者：KPMGコンサルティング株式会社

参加メンバー：自治体4団体、民間18団体、合計22団体

【自治体】：大村市、さいたま市、神戸市、市原市、【民間】：豊田中央研究所、特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社JTB、株式会社ラック、シスコシステムズ合同会社、(株)True Data、(株)デジタルガレージ、(株)unerry、株式会社日本SI研究所、東日本電信電話株式会社、一般財団法人計量計画研究所、東京海上日動火災保険株式会社、森ビル株式会社、富士フイルム株式会社、日本電気株式会社、日本ユニシス株式会社、TIS株式会社、【その他】日本スポーツ振興センター、国交省、観光庁、スポーツ庁、内閣府、総務省

分科会での活動概要

■第一回：

日時：1月20日（月）16時～18時

場所：大手町フィナンシャルシティノースタワー22階KPMG会議室

内容：ご挨拶（内閣府）、趣旨説明（KPMG）、自己紹介（各社2分×25団体）、意見交換（全団体）

■第二回：

日時：7月16日（木）16時30～18時

場所：Teams会議

アジェンダ：ポストコロナにおけるスマートシティ・政府のスマートシティに関する

取組みの現状：内閣府 5分・ポストコロナにおけるスマートシティの論点：

KPMGコンサルティング 10分・スピーカー①：市原市様 10分・スピーカー

②：日本PFI・PPP協会様 10分・スピーカー③：NTT東日本様 10分・

スピーカー④：True Data様 10分・事前アンケートについて：各社 2分×

全社・意見交換

■第三回：

日時：8月20日（木）16時30～18時30

場所：Teams会議

・政府のスマートシティに関する取組みの現状：内閣府 5分

・ポストコロナにおけるスマートシティのモデル案：KPMGコンサルティング 10

分・スピーカー①：さいたま市様 10分・スピーカー②：豊田中央研究所様

10分・スピーカー③：東京海上日動火災保険株式会社様 10分・ス

ピーカー④：岡山大学様 20分・スピーカー⑤：シスコシステムズ合同会

社様 10分・意見交換

分科会の活動成果

当初、2019年度末時点で、スポーツを核としたスマートシティ関連施策5案程度を示し、都市OSのイメージ、他都市への展開施策の検討を行う想定であった。しかし、スポーツ、観光、モビリティなどはコロナの影響を直に受け、ニューノーマルにおけるスポーツを核としたスマートシティの検討が必要となった。まだ手探り状態であるものの、各社のコロナの影響、コロナ禍でのスポーツ、モビリティの事例調査などを実施することで少しずつ議論を前に進めることができた。主な成果は以下の通り

- ・各業界のスポーツを核としたスマートシティの課題の整理
- ・各業界のコロナの影響
- ・自治体のスポーツを核としたスマートシティの課題の整理
- ・自治体のコロナの影響
- ・ポストコロナにおけるスマートシティのイメージの提示

今後の課題・展望

- ・まだ、分科会に参加して頂いている全社のスマートシティに関する取組みが共有できていない
- ・スポーツ、観光、モビリティ等は特にコロナの影響を直に受けており、今後のスポーツを核としたスマートシティに関連するビジネスモデルが描けていない